

学習目標	
(1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。 (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。	
単元・題材名	学習の内容
4月 1. 音読しよう 「すいせんのラップ」 図書館へ行こう 自分をしょうかいしよう 国語じてんのつかい方を知ろう (書) 毛筆のしせい	・場面の様子を思い浮かべて音読する。 ・図書館の本が内容によって整理されていることを知る。 ・自分についてさまざまな観点から振り返り、書く材料を集める。 ・国語辞典の仕組みや使い方を理解する。 ・毛筆の姿勢・筆の持ち方、用具の置き方・扱い方を理解する。 ・段落ごとの内容を据えながら文章を読む。
5月 2. 読んで、感そうをつたえ合おう 「しぜんのかくし絵」 (書) 横画 (一・二) 「こそあど言葉」を使い分けよう 話したいな、うれしかったこと (書) 縦画と点 (下)	・毛筆の「横画」の始筆・送筆・終筆の筆圧を理解する。 ・指示語の働きや種類について理解し、状況に合った指示語を選んで使う。 ・うれしかったことを聞き手に伝えるために、話す事柄を選び、筋道を立てて話す。 ・毛筆の「縦画」の始筆・送筆・終筆の筆圧を理解する。
6月 3. 物語のしかけをさがそう 漢字の組み立てと意味を考えよう インタビューをしてメモを取ろう 調べて書こう、わたしのレポート (書) 折れ (日)	・物語で起きた出来事を読み取り、物語のしかけを見つける。 ・漢字が部首と他の部分とによって構成されていることを理解する。 ・話のまとまりに気を付けて、要点をメモに取りながら聞く。 ・知りたいことに応じた調べ方を考えて調べ、分かったことを整理してレポートを書く。 ・「折れ」の書き方を理解する。
7月 俳句に親しもう 本は友だち 詩を読もう	・俳句に描かれた情景を思い浮かべ、言葉の響きやリズムを感じ取りながら、音読や暗唱をする。 ・読書の楽しさを知り、自分の興味に応じた本を選んで読む。 ・場面の様子を思い浮かべながら、詩を音読する。
9月 「紙ひこうき」「夕日がせなかをおしてくる」 (書) はらい (大)	・左右の「払い」の筆圧を理解する。 ・二つの「ほけんだより」を読み比べ、それぞれのことがらの取り上げ方や、説明の工夫を読み取る。
10月 4. 書き手のくふうを考えよう 「ほけんだより」を読みくらべよう 心にのこったことを ローマ字 1. 感想をつたえ合おう 「サーカスのライオン」 人物を考えて書こう (書) はね (小)	・文章の構成を考え、出来事の様子やそのときの気持ちが伝わるように、文章を書く。 ・ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、ローマ字を使って単語を書く。 ・中心となる人物の気持ちの変化を考えて読み、感想を伝え合う。
11月 ようすをくわしく表そう グループで話し合おう 慣用句を使おう 案内の手紙を書こう (書) 曲がり (つり)	・物語の人物の様子やその人物の会話、行動を想像し、物語を書く。 ・「はね」の書き方を理解する。 ・様子をくわしく表す言葉を含む文から、初歩的な文の組み立てを理解する。 ・話し合いの進め方を意識して、司会の進行に沿ってグループで話し合う。 ・慣用句について知り、意味や使い方を調べて、自分の表現において使う。 ・案内をするときに必要なことを考え、案内の手紙を書く。 ・平仮名の「曲がり」の筆使いを理解する。
12月 2. はたらく犬について調べよう 「もうどう犬の訓練」 3. 世界の物語をしょうかいしよう 「はりねずみと金貨」 気持ちを言葉に わらい話を楽しもう (書) まとめ (水)	・だいたいな言葉や文を見つけながら文章を読み、書かれていることを要約する。 ・いろいろな国や地域の物語を読み、読んだ本のあらすじをまとめて紹介する。
1月 4. 世界の家のつくりについて考えよう 「人をつつむ形ー世界の家めぐり」 漢字の表す意味を考えよう 町について調べてしょうかいしよう	・発見や感動が伝わるように、言葉を考えて詩を書く。 ・昔から伝わる笑い話を読んで親しみ、おもしろかったところが伝わるように音読する。 ・3年で学習したことをまとめる。 ・文章や絵から読み取ったことを整理し、いろいろな家の作りについて考える。
2月 理由が分かるように書こう いろいろなつたえ方を知ろう 5. 音読発表をしよう 「モチモチの木」 「わたしのベストブック」を作ろう	・漢字が複数の意味を表すことやその意味の違いについて理解する。 ・町について紹介するために、必要な事柄を調べてまとめ、資料を使って分かりやすく話す。 ・自分が考えた絵文字が伝わるように、考えとその理由を説明する文章を書く。 ・文字や音声とは異なる伝達手段と機能を理解し、身の回りにある伝える働きをするものについて考える。 ・行動や会話を手がかりに人物像を考え、その人物らしさが表れるように音読する。
3月 「わたしのベストブック」を作ろう	・文集作りで一年間の学習を振り返り、文章のよく書けている点を文章に書く。

図書の時間 15時間 自由作文 17時間

評価の観点	
【関心・意欲・態度】国語で伝え合う力を進んで高め合うとともに、国語に対する関心を深め、工夫をしながら話したり聞いたり書いたり、幅広く読書したりしようとする。 【話す・聞く】相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたり、進行に沿って話し合ったりしている。 【書く】相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書いている。 【読む】目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら本や文章を読んでいる。 【知識・理解・技能】伝統的な言語文化に触れたり、言葉特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を形や大きさ、配列、筆圧などに注意して書いている。	
評価の方法	評価の観点
テスト	発言内容 活動の様子 ノート ワークシート 作品